

令和5年度

事業計画及び  
予算書

公益財団法人 静岡産業振興協会

# 目 次

1	事業計画	1
2	収支予算書	14
3	収支予算内訳表	17

# 令和5年度 公益財団法人 静岡産業振興協会 事業計画

## I 事業方針

新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」）やロシアのウクライナ侵攻の影響により、地域経済の先行きが不透明になっている中、本協会においてもツインメッセ静岡の貸館収入の減少や光熱費の高騰など、財政基盤の弱体化が懸念される厳しい状況下で、協会の強みや特徴を生かし、産業交流や中小企業支援、さらには協会経営で明確な成果を上げていくために、第2次中期経営計画（令和5年度～8年度）を策定し、当該計画に沿って事業の4本柱である①「ツインメッセ静岡貸館事業」、②「地場産業支援事業」、③「都市型産業支援事業」、④「中小企業支援センター事業」の各事業において目標の達成に取り組みます。

当該計画の初年度となる令和5年度の各事業の主な重点事項は、次のとおりです。

- 1 「ツインメッセ静岡貸館事業」では、「展示機能を活かした交流人口拡大による地域経済の活性化」を目的に、賑わいと活力のある地域づくりに貢献するため、貸館利用率の回復に努めます。職員の催事開催支援のノウハウを活かした利用者満足度の向上、行政施策と連携した静岡型MICEの誘致、静岡市の模型・ホビーの発信拠点の優位性を活かした「模型・ホビー」分野に特化したアプローチに取り組み、継続的な誘致案件の確保を図ります。また、目的とターゲットを明確にした情報発信を目指し、より拡散力の高いSNSの活用などにより、全国に向けたファンづくりに取り組みます。
- 2 「地場産業支援事業」では、民間企業、静岡市、地場産業関連団体・施設等と連携してものづくり業界の活性化に資するため、新たにものづくりイベントの実施に向けて取り組み、作り手と共に、地場産業の楽しさや奥深さを感じ商品の愛用や情報の拡散をするファンを増やし、地元産業を盛り上げていきます。また、「産業フェアしずおか」とも連携し、目的達成や効率性の相乗効果を目指します。
- 3 「都市型産業支援事業」では、産学交流センターの指定管理業務を引き続き市から受託したことを受け、中小企業や組合等が、高度な知識、技術、ノウハウを持つ大学等と共同で行う産学共同研究委託事業を拡充し、より多くの団体が参加できるようにすることで、地域課題の解決を促進します。
- 4 「中小企業支援センター事業」では、中小企業者の基礎的なITスキル向上を図るため、EC対応を中心に必要なスキルやノウハウを習得する実践的なセミナーとワークショップを組み合わせて実施していきます。

## II 事業概要

### 1 公益目的事業

#### (1) ツインメッセ静岡貸館事業（産業及び地域の振興・交流拠点事業）

##### ① 展示場及び会議室等の貸与 212,617千円（178,088千円）

地場産業団体や地元中小企業等が関与する催事及び国、地方公共団体等が実施する事業など、公益目的の事業に展示場や会議室等を提供し、地域産業の活動支援や経済交流の促進を図る。

また、コロナ禍や令和4年度に実施した南館大規模改修による休館の影響により低迷した利用率を回復するため、利用者への的確なサポートや積極的な営業を行い、利用促進を図る。

【主な催事】（地場産業団体や地元中小企業等が関与する催事）

静岡ホビーショー（5月）	シズオカ[KAGU]メッセ(6月)
ビジネスマッチング商談会（9月）	静岡優良ツキ板展示大会(11月)
産業フェアしずおか(11月)	クリスマスフェスタ（12月）
SDGs推進 TGC しずおか（1月）	静岡どてらい市（3月）など

【主な催事】（国、地方公共団体等が行う事業）

若年者ものづくり競技大会(7月) NEW	静岡市職員採用試験（9月）
一般用医薬品販売の国家資格試験（9月）	確定申告会場(2～3月) など

※「◆取組」「◇目標」については、

「3 公益と収益に共通する事業」「(1) 利用促進事業」に掲載する。

#### (2) 地場産業支援事業

##### ① 新製品、新技術及びデザイン開発支援事業 10,677千円（10,772千円）

静岡の特色を活かした新商品の開発・商品化及び開発商品の販路開拓支援等による業界全体の活性化を図る。

<ニューウェーブ「しずおか」創造事業>

地元製造業者と協会の有するデザイナーネットワークを活用して、全国公募したデザイナーと地元製造業者とのマッチングによる新商品開発を行い、開発商品は首都圏で開催されているBtoB展示会へ出展しテストマーケティングを行う。

◆取組 ・製造業者、デザイナーへのフォローアップをおこない、商品開発に集中できる環境を提供する。

◇目標 ・開発商品実用化件数 2件（経営計画目標）  
・展示会での商談件数 40件（経営計画目標）

#### <地場産業販路開拓・PR事業>

ニューウェーブ「しずおか」創造事業のアフターフォローとして首都圏で開催されている2つのタイプの異なる展示会に出展ブースを設置し、地元製造業者に販路開拓の場を提供して開発商品の実用化を支援する。

◆取組 ・地場産業販路開拓・PR事業を有効活用し、開発商品の実用化、販路開拓を支援する。

◇目標 ・開発商品実用化件数 2件（経営計画目標）  
・展示会での商談件数 40件（経営計画目標）

※<ニューウェーブ「しずおか」創造事業>と共通の目標

#### <若手職人支援プロジェクト>

静岡の伝統工芸やものづくり産業の未来を担う若手職人の新たな挑戦をサポートする。昨年までは、若手職人集団・するがクリエイティブを対象に、グループ活動や個人（職人）として販売会や勉強会を重ねてきたが、令和5年度は、新たな試み、新たな刺激として小田原・箱根地区で活動されている寄木細工職人集団との相互見学会や合同展などの交流イベントの実施をサポートする。

◆取組 ・小田原・箱根地区の寄木細工職人との交流イベントの開催サポート

◇目標 ・交流イベント参加者の満足度90%以上

#### ② 人材養成、人材確保推進事業 3,033千円（3,033千円）

伝統産業の技術力を継承する実技演習や中小企業の従事者、職人等の販売力、広報力を養う各種講習会を実施し、地場産業の後継者育成と中小企業の経営基盤強化を支援する。

#### <伝統工芸技術保存講習会>

静岡市伝統工芸技術秀士級の技術を持った職人を講師に迎え、主に地場産業に就業している職人を対象に、5分野（漆器、竹細工、蒔絵、拭き漆、木工）の実技講習会を開催し、伝統工芸の後継者育成と技術練磨を図る。

また、講習会の継続的な受講を促すとともに、技術練磨の意欲を持続するために全国規模の展覧会・コンペティションへの出品を促すことでモチベーションを高め、各種展覧会やコンペティションに出品できる技術レベルの人材を育成する。

◆取組 ・各種展覧会やコンペティション情報の提供及び出品のサポートを行い、受講生のモチベーションの向上に取り組む。

◇目標 ・展覧会及びコンペティションへの出品2点（経営計画目標）

<静岡ものづくり支援事業>

地場産業におけるものづくり関係者を対象に、地域資源を活用した地域産業を考える講演会を開催するほか、販売や販促に必要なスキルを習得するための講座で、職人の持つ自らの技術をアピールする展示会への出展を通して地域産業の抱える課題の解決につなげる。

◆取組 ・各種講座（講演会、実践講座など）を開催する。

◇目標 ・講演会の参加者数 30 名以上

③ 「産業フェアしずおか」開催事業 19,117 千円（17,121 千円）

静岡市及び各種産業団体等と連携して「産業フェアしずおか」を開催し、静岡市の地場産業及び地場産品等を一堂に集め、その良さや魅力を発信して消費拡大を促す。

<産業フェアしずおか 2023>

市内の地場、農・林・水産業や観光等の出展者に販売や魅力発信等の機会を提供し、来場者に“地場産品の愛用”と“地産地消”を促すとともに、他都市からの出展による地域交流や中部横断自動車道沿線エリアの物産展の展開等、地域経済の活性化のための取組を推進する。

令和5年度は、前年好評だった体験企画の更なる充実を図り、来場者が直接産業に触れ、親しめるようにすることで関心・興味を引き出し、理解を広げる一助とする。また、別途記載の「ものづくり業界活性化イベント開催支援」との連携を模索し、目的達成や効率性における両イベントの相乗効果を図る。

〔会 場〕 ツインメッセ静岡

〔開催日〕 令和5年11月25日（土）・26日（日）（予定）

〔主 催〕 （公財）静岡産業振興協会

◆取組 ・来場者、出展者に対するアンケート実施と、その結果のフィードバックによる改善により、質の高いフェア開催を目指す。

◇目標 ・来場者満足度 90%以上（経営計画目標）

・出展者満足度 90%以上（経営計画目標）

④ 「ものづくり産業体験事業」に対する協賛金交付事業 1,500 千円（1,500 千円）

地域の小・中・高校生がものづくり体験を通して、地域産業にふれあい、興味・関心を醸成することを目的に実施する催事に対して、協賛金による助成を行う。

◆取組 ・ツインメッセ静岡を利用して、静岡市内に在住する小・中・高校生を対象にした体験型催事を実施する地場産業団体へ協賛金を交付する。

⑤ ものづくり業界活性化イベント開催支援 **新規** 2,000 千円 ( 0 千円)

地場産業の楽しさや奥深さを感じ、商品の愛用や、情報を拡散するファンを増やし、地元の産業を盛り上げていくため、ものづくり産業を牽引している作り手と共に、静岡市や関係団体・施設と連携して、ものづくりイベントの実施に向けて取り組む。また、産業フェアしずおか開催にあわせて実施することで、両イベントの相乗効果を図る。

◆取組 ・ものづくり業界活性化イベント開催にあたり、ものづくり関連企業等と実行委員会等を組織して参加し、事務支援などを行う。

◇目標 ・オープンファクトリーやワークショップなどのイベントの実施  
(経営計画目標)

(3) 都市型産業支援事業

① 創業者支援事業 6,388 千円 (6,398 千円)

資本や人材などの経営資源に乏しい創業者が、スムーズに事業を開始し、立ち立つために必要な支援事業を実施する。

<創業・経営相談>

創業希望者、創業間もない個人及び中小企業者等を対象にした相談業務を行い、経営に関する悩みや課題の解決を図る。

◆取組 ・企画事業スタッフによる事業指導、経営相談を実施する。

◇目標 ・相談件数 200 件

<大学等起業家育成支援事業>

大学生や高校生等を対象に、創業に関する基礎知識の習得や、自立心・問題発見力・想像力等の“起業家精神”を育む。

◆取組 ・高校、専門学校、大学に出向き、「ビジネス実践講座」を実施する。

◇目標 ・大学等 5 校程度、高校 5 校程度の参加者を確保

<創業者育成支援等事業>

創業者の輩出、起業家精神の高揚、柔軟な発想力や独創性に富む人材の発掘、中小企業における新製品・新サービスの開発を目指して、各種セミナー等の開催、ビジネスプランコンテストを実施するほか、創業者育成室を運営する。

- ◆取組
  - ・県内で新規に事業展開を目指す学生、社会人、主婦等を対象とした「ビジネスプランコンテスト」を開催する。
  - ・創業を目指す方々を対象に、ビジネス目標の可視化、インスタグラムの習得を図るほか、地元で活躍する起業家をゲスト講師に迎えて「起業スタートアップ塾」を開催し、併せて交流会を実施することで、創業者間のネットワーク構築の場を提供する。
  - ・創業予定者を対象とした起業の基礎を学べる「創業支援セミナー」を開催し、ビジネスプランコンテスト応募者の発掘及び実際の起業に繋げる。
  - ・創業者等を対象に、ビジネスチャンスの拡大を目的として、専門家や経営者等による“気づき”のための「ブレイクスルーセミナー」を開催する。
- ◇目標
  - ・ビジネスプランコンテストへの応募件数 80 件

② マーケティング支援事業 5,794 千円 (5,794 千円)

中小企業支援の主な視点をマーケティングに置き、人材育成や商品開発支援を実施する。

<マーケティング支援講座>

創業者、中小企業者等に対して、マーケティング指向で対応できる人材を育成し、中小企業の売上や顧客満足度の向上に繋げるためのセミナー、研修、講座を開催する。

- ◆取組
  - ・受講者のレベルに合わせた支援講座を年 12 回開催する。
  - ・御幸町図書館との連携事業として、図書館フロアでセミナー関連図書の展示を行う。

- ◇目標
  - ・講座受講者による満足度割合 90%以上

<静岡おみやプロジェクト>

市内の食品事業者（中小企業者）から参加事業者を公募し、約 10 か月をかけ、講座やテストマーケティング等を行い、商品開発から販路開拓・販売までを一貫して実践するプロジェクトを実施し、参加事業者のマーケティング視点での商品開発ノウハウの習得や商品開発力の向上と市内食品事業者間のネットワーク構築を図る。

- ◆取組
  - ・プロジェクトの実施

- ◇目標
  - ・新商品開発 5 件以上

③ 産学連携事業 19,885 千円 (18,960 千円)

高度な技術、人材、知識を持つ大学と中小企業との連携を促し、中小企業の新製品開発、新事業進出及び経営の高度化を後押しする。

＜産学連携コーディネータによる産学連携推進＞

中小企業の新事業への進出や経営課題の解決・改善に向けて、産学連携相談や中小企業者に対する大学等の研究成果、技術情報の提供等を行い、企業と大学や工業技術研究所等との交流・連携を推進する。

- ◆取組 ・「産学連携コーディネータ会議」を開催し、中小企業、大学、行政機関の間で革新的技術等の情報共有を図る。
- ◇目標 ・相談件数 100 件以上（経営計画目標）  
・産学官金連携、異業種連携のマッチング件数 2 件以上（経営計画目標）

＜地域課題に係る産学共同研究委託事業＞

企業、組合、産業活性化グループなどの団体等が、地域課題を解決するため、高度な知識、技術、ノウハウを持つ大学等と共同で行う調査、研究や開発等の取組を支援する。

受託者は、「基礎コース」で基礎研究に力を注いでいくとともに、「応用コース」「発展コース」を活用して研究課題の実用化を促進する。

- ◆取組 ・事業の入り口を広げ、より多くの団体等が参加できるように、事前の相談を充実させ、応募件数、採択件数の増加につなげる。  
・過去の本委託事業を経験した企業を訪問し、研究実用化への助言を行う。
- ◇目標 ・成果事例（実用化、補助金獲得等） 2 件以上

④ 情報提供事業 658 千円 (725 千円)

ホームページをはじめ、メールマガジン、広報誌等の情報媒体により、創業者や中小企業者向けに当センターや産業支援施設等の情報を提供する。

当センターのラウンジやペガサート地下通路のショーケースを利用し、産学共同研究委託事業等の掲示物を展示する。

- ◆取組 ・当センターの認知度向上に向けて、ラウンジや地下通路の掲示物や SNS 等の情報を随時更新し、最新の情報を提供する。
- ◇目標 ・メールマガジン新規登録者数 250 件

#### ⑤ 施設提供事業

中小企業の会議や研修をはじめ、大学等の講義、講演会等に施設の貸出を行う。

なお、大学や産業支援機関等が主催する事業で、当センターの事業を拡大、補完するものとして認められる事業については、施設の優先利用を許可する。

大会議室については、令和3年度、4年度に引き続き、静岡市の「コ・クリエーションスペース」として提供する。

◆取組 ・利用者アンケートで要望のあった点についてできる限り対応し、気持ちよく使っていただけるよう改善を図ることで、リピーターの確保につなげていく。

◇目標 ・年間施設使用料収入2,200万円以上

### (4) 中小企業支援センター事業

#### ① 窓口相談等事業 7,820千円(7,650千円)

中小企業者やこれから創業を志す人に対し、中小企業診断士やIT専門家による経営相談や、マーケティングアドバイス、創業相談等を行う。

◆取組 ・創業基礎知識習得を支援するための中小企業診断士による個別相談を月曜日から金曜日の週5日実施する。

・IT専門家によるWEBマーケティング個別相談を土曜日を実施する。

◇目標 ・新規創業者数、新商品開発数、新分野進出件数 40件以上  
(経営計画目標)

#### ② 専門家派遣事業 5,025千円(5,025千円)

創業者や創業予定者、中小企業等の課題や問題等を解決するために専門家を派遣する。また、進化するIT化への対応などの相談が増えていることから、IT化の指導が可能な専門家の確保に取り組む。

◆取組 ・経済関係団体等と専門家の情報を共有する。

◇目標 ・IT関係の専門家を新たに2人以上確保(経営計画目標)

#### ③ 新連携・地域資源活用プログラム等利用支援事業 1,000千円(1,000千円)

「新連携」や「地域資源活用プログラム」をはじめ、「農商工連携」等の国庫補助制度の採択に向け、本市における地域資源や企業の技術、ノウハウを活かした新製品・新サービスの開発、事業化を推進する。

④ 中小企業等販路開拓支援事業 1,600千円(2,450千円)

中小企業者の販売促進に向け、ウェブマーケティングを中心に、実践的なセミナー等を開催するとともに、マルシェ・イベント等での販売会を実施する。

◆取組 ・基礎的なITスキル向上を図るため、EC対応を中心に必要なスキルやノウハウを習得するセミナーとワークショップを組み合わせる。新規

・県内外で販売会を開催し、商品のPRや販売の場を提供する。

◇目標 ・セミナー・ワークショップ開催回数 10回程度

・販売会開催回数 1回以上

⑤ 制度融資関連事務(静岡市受託事業) 6,600千円(6,800千円)

融資の申込書類の受付、相談事務など、中小企業への融資制度事務を行う。

## 2 収益事業

### (1) ツインメッセ静岡貸館事業(産業及び地域の振興・交流拠点事業)

① 展示場及び会議室等の貸与 91,122千円(78,537千円)

市民を対象にした企業の販売会やPRイベントなど公益目的事業以外の催事にも展示場、会議室を提供し、地域経済の活性化と施設運営の安定化を図る。

【主な催事】

新日本プロレス 静岡大会(4月) C4LAN 2023 SPRING(4月)

キャンピングカー&アウトドアショー(6月)

伊藤忠ファミリーフェア(6月・12月) 将棋日本シリーズ静岡大会(7月)

輸入車アウトレットフェア(7月・2月) ミネラルザワールド天然石祭(11月)

※「◆取組」「◇目標」については、

「3 公益と収益に共通する事業」「(1) 利用促進事業」に掲載する。

② レストランテナント及び飲料水自動販売機事業

テナント方式によるレストランや飲料水、コピー機等を設置し、施設利用者の利便性を確保する。

### 3 公益と収益に共通する事業

#### (1) 利用促進事業 7,051千円(5,947千円)

- ① ツインメッセ静岡の展示機能等を活かした交流人口拡大による地域経済の活性化  
静岡市の産業振興に貢献する産業支援施設として、展示会、イベント、セミナーなど多様な催事の誘致に取り組み、にぎわいと活力ある地域づくりに貢献するとともに、施設利用率の向上を目指し、安定的な施設運営を図る。

##### <利用者満足度の向上>

地域唯一の産業支援センターとして、産業振興に数多く携わってきた職員が催事開催支援のノウハウを活かし、催事の成功に導き、利用者満足度の向上を図る。

- ◆取組
  - ・貸館の運營業務において集積された開催成功のノウハウや新型コロナ対策の方法等を利用者に提供し、サポートを行う。
  - ・利用者を対象にヒアリングを行い利用者のニーズを把握したうえで、催事開催を後押しする新たな制度を検討するなど、利用者との信頼関係の構築に努め、今後の継続的な利用につなげる。
  - ・コロナ禍を契機に増加したオンライン展示会や、リアルとのハイブリッド展示会に関する需要を調査し、導入方法等を研究する。
- ◇目標
  - ・南・北大展示場利用率48%（経営計画目標）
  - ・ヒアリング調査の結果を踏まえ、対策を検討し、改善可能なものから実施する。（経営計画目標）

##### <行政施策と連動した静岡型MICEの誘致>

大規模展示会・催事の誘致には、主催者にとって静岡で開催することの経済合理性やそれを上回る話題性などが必要であり、本施設単独での誘致活動には限界があるため、行政や関係機関を巻き込み、地域を挙げた静岡型MICEの推進を目指す。

- ◆取組
  - ・海洋関連MICE、海釣り公園供給開始イベント、中部横断道開通に伴う沿線地域との経済交流活性化イベントなど、県や市の施策に沿った地方でも開催可能なコンベンションや商談会の誘致活動を行う。
  - ・交通、宿泊、飲食などのMICE関連業界と共同してキーパーソンに接触、アピールし、MICE誘致の競争力を高める。
  - ・大規模かつ長期の公共利用についても、調査研究する。
- ◇目標
  - ・継続的な誘致検討案件を3件確保（経営計画目標）

<地域ブランド「模型・ホビー」分野に特化したアプローチ>

静岡市の模型・ホビーの発信拠点の一つとなっている本施設の優位性を活用し、さらに高めていくため、静岡市の推進する「静岡市プラモデル化計画」への貢献を図るとともに、模型・ホビーと親和性のある新分野にアプローチする。

◆取組 ・関連業界で発言力・実行力があるキーパーソンに接触し、アピール、マッチングすることにより関係性を築き、新規利用者の獲得につなげる。

◇目標 ・継続的な誘致検討案件を3件確保（経営計画目標）

※<行政施策と連動した静岡型MICEの誘致>と共通の目標

② 目的とターゲットを明確にした情報発信

これまでの情報発信手段より付加価値を付けた情報を施設利用者や来場者に伝えるため、ホームページの機能を強化し、YouTube やTwitterなどを活用して、施設及びイベント紹介の動画配信やタイムリーな情報など、魅力ある情報を全国の利用者や来場者へダイレクトに届け、当館のファンを増やすことにより施設のブランド力の向上を目指し、利用促進や来場促進につなげる。

また、リピーターや誘致対象者に対して南館大規模改修完了後の内覧・プレゼンテーション会を実施するほか、首都圏の展示会主催者等を対象にした静岡視察ツアー等を検討し、利用者に施設の新しい活用方法などを提供していく。

◆取組 ・YouTube を活用し、ホームページ上で親しみやすいイベント風景の動画配信を行う。(YouTube の動画配信を1年で6件以上行う。) **新規**  
・Twitter を活用し、効果的なイベント告知やダイレクトな情報などを投稿する。(Twitter 投稿を1年で180件以上行う。) **新規**  
・南館大規模改修完了後の内覧会を実施する。

◇目標 ・Twitter のインプレッション数(\*) 150,000 件以上(経営計画目標)

\* Twitter のインプレッション数:

当協会のツイートをユーザーが「表示した回数」のこと。

(2) 有料駐車場の管理・運営（ツインメッセ静岡）

来場者の利便性を高めるため、有料駐車場の管理運営を行う。

☆収容台数 立体 587 台・地下 189 台

☆利用料金 1 時間毎 200 円

(3) 施設整備・修繕等（ツインメッセ静岡） 695,168千円（1,402,000千円）

利用者の安心・安全の確保及び利用者サービスの向上を図るため、施設及び設備の修繕を実施する。なお、立体駐車場の管制システムについては更新時期が近付いているため、利用形態にあった最適な管制システムの導入に向けて検討を始める。

① 計画修繕 82,808千円（73,500千円）

計画修繕については、コロナ感染症や光熱費高騰の影響による財政状況を考慮し、令和5年度も緊急性の高い修繕に絞って実施するものとする。

- ア 立体駐車場屋上防水改修（2/2期目）
- イ 南館地下駐車場泡消火設備修繕（1/2期目）
- ウ 中央棟外部鉄骨階段塗装
- エ プロムナード側溝修繕・周囲不陸調整
- オ 南館排煙窓オペレーター修繕
- カ 駐車場精算機新券対応改造修繕

② 南館大規模改修 602,360千円（1,318,500千円）

令和4年2月に請負契約を締結した南館耐震補強・大規模改修工事については、令和5年4月末の完了に向けて順調に進捗している。

ア 耐震補強・大規模改修工事（令和3～5年度継続工事）

契約日：令和4年2月18日

契約金額：1,570,800,000円

変更後の契約金額：1,595,800,000円（25,000,000円増）

※変更契約は令和5年4月1日に締結予定

受注者：木内・五光 特定建設工事共同企業体

工期：令和4年2月18日から令和5年4月28日

イ 工事監理業務（令和4～5年度継続業務）

令和4年4月1日 契約締結

契約金額：26,730,000円

受託者：株式会社日建設計名古屋オフィス

業務期間：令和4年4月1日から令和5年5月31日

ウ 非常用自家発電機更新工事（令和4～5年度継続工事）

令和4年4月27日 契約締結

契約金額：196,900,000円

受注者：株式会社明電舎

工期：令和4年4月27日から令和5年4月28日

【 南館大規模改修の支払計画 】

(千円)

工事・業務名	令和4年度支払分	令和5年度支払分	計
ア 耐震補強・大規模改修工事	1,138,310	457,490	1,595,800
イ 工事監理業務	0	26,730	26,730
ウ 非常用自家発電機更新工事	78,760	118,140	196,900
合計	1,217,070	602,360	1,819,430

- ◆取組 ・ 駐車場管制システムの動向調査の実施
- ◇目標 ・ 駐車場管制システムに関する資料収集と事例調査等の整理  
(経営計画目標)

#### 4 組織づくり・人材づくりへの取組

##### (1) 人材育成 458千円 (247千円)

協会が担う各事業を着実に実施するために、事業企画力、交渉力、産業支援のノウハウ、財務能力、経営管理能力など実務に精通した人材の育成に取り組む。

- ◆取組 ・ 事業実施に必要なノウハウや関係団体・個人等とのネットワークの充実及び次世代を担う職員に継承していくための実践的な研修の実施や外部研修などの受講を推進する。
- ◇目標 ・ 職員の希望する研修の再確認、受講手順の整備と職員への周知  
(経営計画目標)

##### (2) 内部統制等

公益法人として適正な運営に努めるため内部統制の更なる充実を図る。

- ◆取組 ・ 社会情勢及び環境変化に応じて、関連する規程、マニュアル等について見直しを行う。
- ◇目標 ・ 整備が必要な規程等の確認作業を行い、整備後順次施行 (経営計画目標)

#### 5 理事会・評議員会

協会が適切な事業運営を行うために、下記の時期に理事会及び評議員会をそれぞれ開催する。理事会では業務執行の決定等を行い、評議員会では法人運営の適正化の評価等を行う。

- ☆定時理事会 5月、3月
- ☆定時評議員会 6月

令和5年度収支予算書  
 公益財団法人 静岡産業振興協会  
 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常利益				
① 基本財産運用益	427,054	315,944	111,110	
基本財産受取利息	54	54	0	
基本財産受取賃借料	379,000	282,045	96,955	
基本財産受取駐車場料	48,000	33,845	14,155	
② 事業収益	24,704	24,354	350	
施設利用料収益	22,013	22,013	0	
受取負担金	2,691	2,341	350	
③ 受取補助金等	194,462	182,467	11,995	
受取地方公共団体補助金	111,277	106,577	4,700	
産学交流センター指定管理受託収益	76,585	69,290	7,295	
制度融資窓口事務受託収益	6,600	6,600	0	
④ 受取負担金	6,225	7,125	△ 900	
受取負担金	6,225	7,125	△ 900	
⑤ 受取出捐金	602,360	1,318,500	△ 716,140	
受取出捐金	602,360	1,318,500	△ 716,140	
⑥ 雑収益	3,051	2,767	284	
雑収益	3,051	2,767	284	
⑦ 営業収益	3,700	3,000	700	
飲料水販売受託収益	3,700	3,000	700	
⑧ 営業外収益	3,180	2,800	380	
雑収益	3,180	2,800	380	
経常収益計	1,264,736	1,856,957	△ 592,221	
(2) 経常費用				
① 事業費	850,391	781,007	69,384	
給料手当	107,880	108,355	△ 475	
退職給付費用	2,684	3,172	△ 488	
福利厚生費	16,423	16,673	△ 250	
旅費交通費	1,996	1,864	132	
通信運搬費	2,390	2,457	△ 67	
広告料	1,620	1,469	151	
減価償却費	237,899	237,899	0	
消耗什器備品費	1,353	454	899	
消耗品費	6,015	6,422	△ 407	
修繕費	93,861	84,071	9,790	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
印刷製本費	3,753	2,144	1,609	
燃料費	140	120	20	
食糧費	227	314	△ 87	
光熱水料費	95,126	52,938	42,188	
賃借料	14,056	13,031	1,025	
災害保険料	2,443	2,542	△ 99	
諸謝金	31,680	32,034	△ 354	
手数料	3,701	2,684	1,017	
租税公課	32,461	34,449	△ 1,988	
原材料費	709	841	△ 132	
助成金	2,500	1,500	1,000	
負担金	5,329	3,663	1,666	
委託費	186,014	171,741	14,273	
雑費	70	70	0	
雑損失	61	100	△ 39	
②管理費	47,467	49,786	△ 2,319	
役員報酬	5,671	5,436	235	
給料手当	30,348	32,565	△ 2,217	
退職給付費用	1,716	2,028	△ 312	
福利厚生費	5,366	5,795	△ 429	
旅費交通費	376	349	27	
減価償却費	1,676	1,676	0	
通信運搬費	10	10	0	
消耗什器備品費	6	1	5	
消耗品費	22	24	△ 2	
修繕費	652	584	68	
印刷製本費	13	2	11	
食糧費	14	20	△ 6	
光熱水料費	574	295	279	
賃借料	0	0	0	
災害保険料	17	18	△ 1	
諸謝金	694	660	34	
手数料	12	11	1	
租税公課	228	240	△ 12	
負担金	2	2	0	
委託費	0	0	0	
雑費	70	70	0	
經常費用計	897,858	830,793	67,065	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
評価損益等調整前当期経常増減額	366,878	1,026,164	△ 659,286	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資資産評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	366,878	1,026,164	△ 659,286	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	366,878	1,026,164	△ 659,286	
一般正味財産期首残高	5,924,804	4,904,919	1,019,885	
一般正味財産期末残高	6,291,682	5,931,083	360,599	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	30,000	30,000	0	
指定正味財産期末残高	30,000	30,000	0	
III 正味財産期末残高	6,321,682	5,961,083	360,599	

令和5年度 収支予算内訳表  
 公益財団法人静岡産業振興協会  
 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業会計				法人会計	内部取引消去	合 計	
	公1	公2	公3	公4	共通	小計	収1	他1	共通				小計
I 一般正味財産増減の部													
1. 経常増減の部													
(1) 経常利益													
① 基本財産運用益	298,900	0	0	0	54	298,954	3,790	124,310	0	128,100	0	0	427,054
基本財産受取利息	0	0	0	0	54	54	0	0	0	0	0	0	54
基本財産受取賃借料	265,300	0	0	0	0	265,300	3,790	109,910	0	113,700	0	0	379,000
基本財産受取駐車場料	33,600	0	0	0	0	33,600	0	14,400	0	14,400	0	0	48,000
② 事業収益	0	490	22,539	1,675	0	24,704	0	0	0	0	0	0	24,704
施設利用料収益	0	0	22,013	0	0	22,013	0	0	0	0	0	0	22,013
受取負担金	0	490	526	1,675	0	2,691	0	0	0	0	0	0	2,691
③ 受取補助金等	28,980	37,257	76,585	39,220	0	182,042	414	12,006	0	12,420	0	0	194,462
受取地方公共団体補助金	28,980	37,257	0	32,620	0	98,857	414	12,006	0	12,420	0	0	111,277
産学交流センター指定管理受託収益	0	0	76,585	0	0	76,585	0	0	0	0	0	0	76,585
制度融資窓口事務受託収益	0	0	0	6,600	0	6,600	0	0	0	0	0	0	6,600
④ 受取負担金	1,218	0	225	0	0	1,443	2,172	522	0	2,694	2,088	0	6,225
受取負担金	1,218	0	225	0	0	1,443	2,172	522	0	2,694	2,088	0	6,225
⑤ 受取出捐金	421,652	0	0	0	0	421,652	0	180,708	0	180,708	0	0	602,360
受取出捐金	421,652	0	0	0	0	421,652	0	180,708	0	180,708	0	0	602,360
⑥ 雑収益	2,100	0	51	0	0	2,151	0	900	0	900	0	0	3,051
雑収益	2,100	0	51	0	0	2,151	0	900	0	900	0	0	3,051
⑦ 営業収益	0	0	0	0	0	0	3,700	0	0	3,700	0	0	3,700
飲料水販売受託収益	0	0	0	0	0	0	3,700	0	0	3,700	0	0	3,700
⑧ 営業外収益	0	0	0	0	0	0	3,180	0	0	3,180	0	0	3,180

科 目	公益目的事業会計						収益事業会計				法人会計	内部取引消去	合 計		
	公1	公2	公3	公4	共通	小計	収1	他1	共通	小計					
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,180
經常収益計	752,850	37,747	99,400	40,895	54	930,946	13,256	318,446	0	0	2,088	0	0	0	1,264,736
(2) 經常費用															
①事業費	426,530	50,846	101,473	41,106	0	619,955	18,941	209,430	0	0	2,065	0	0	0	850,391
給料手当	31,073	14,600	24,590	18,538	0	88,801	3,542	15,537	0	0	0	0	0	0	107,880
退職給付費用	1,760	0	0	0	0	1,760	44	880	0	0	0	0	0	0	2,684
福利厚生費	5,504	2,300	3,027	2,702	0	13,533	138	2,752	0	0	0	0	0	0	16,423
旅費交通費	533	694	273	204	0	1,704	227	0	0	0	65	0	0	0	1,996
通信運搬費	960	296	610	108	0	1,974	4	412	0	0	0	0	0	0	2,390
広告料	1,072	88	0	0	0	1,160	0	460	0	0	0	0	0	0	1,620
減価償却費	146,798	0	73	0	0	146,871	4,072	86,956	0	0	0	0	0	0	237,899
消耗什器備品費	788	0	200	0	0	988	17	348	0	0	0	0	0	0	1,353
消耗品費	2,208	954	1,134	707	0	5,003	49	963	0	0	0	0	0	0	6,015
修繕費	63,271	231	1,100	0	0	64,602	1,584	27,675	0	0	0	0	0	0	93,861
印刷製本費	1,464	193	1,283	150	0	3,090	28	635	0	0	0	0	0	0	3,753
燃料費	49	0	0	70	0	119	0	21	0	0	0	0	0	0	140
食糧費	71	0	126	0	0	197	0	30	0	0	0	0	0	0	227
光熱水料費	52,234	0	13,700	0	0	65,934	6,314	22,878	0	0	0	0	0	0	95,126
賃借料	3,502	3,783	1,415	3,855	0	12,555	0	1,501	0	0	0	0	0	0	14,056
災害保険料	1,629	0	60	0	0	1,689	41	713	0	0	0	0	0	0	2,443
諸謝金	0	1,890	15,473	13,512	0	30,875	805	0	0	0	0	0	0	0	31,680
手数料	1,354	229	1,204	240	0	3,027	82	592	0	0	0	0	0	0	3,701

科 目	公益目的事業会計					収益事業会計					法人会計	内部取引消去	合 計
	公1	公2	公3	公4	共通	小計	収1	他1	共通	小計			
租税公課	22,059	30	17	11	0	22,117	653	9,691	0	10,344	0	0	32,461
原材料費	0	709	0	0	0	709	0	0	0	0	0	0	709
助成金	700	1,500	0	0	0	2,200	0	300	0	300	0	0	2,500
負担金	290	0	2,897	9	0	3,196	6	127	0	133	0	2,000	5,329
委託費	89,162	23,349	34,291	1,000	0	147,802	1,274	36,938	0	38,212	0	0	186,014
雑費	49	0	0	0	0	49	0	21	0	21	0	0	70
雑損失	0	0	0	0	0	0	61	0	0	61	0	0	61
②管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47,467	47,467
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,671	5,671
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,348	30,348
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,716	1,716
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,366	5,366
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	376	376
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,676	1,676
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	22
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	652	652
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	13
食糧費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	14
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	574	574
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
災害保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	17
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	694	694
手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	12
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	228	228

科 目	公益目的事業会計				収益事業会計				法人会計	内部取引消去	合 計		
	公1	公2	公3	公4	共通	小計	収1	他1				共通	小計
	負担金	0	0	0	0	0	0	0				0	0
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70	0	70
経常費用計	426,530	50,846	101,473	41,106	0	619,955	18,941	209,430	0	228,371	49,532	0	897,858
評価損益等調整前当期経常増減額	326,320	△ 13,099	△ 2,073	△ 211	54	310,991	△ 5,685	109,016	0	103,331	△ 47,444	0	366,878
基本財産評価増益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価増益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資資産評価増益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	326,320	△ 13,099	△ 2,073	△ 211	54	310,991	△ 5,685	109,016	0	103,331	△ 47,444	0	366,878
2. 経常外増減の部													
(1) 経常外収益													
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用													
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額													
当期一般正味財産増減額	326,320	△ 13,099	△ 2,073	△ 211	54	310,991	△ 5,685	109,016	0	103,331	△ 47,444	0	366,878
一般正味財産期首残高	5,402,147	5,935	21,647	3,045	645,643	6,078,417	6,694	△ 72,957	201,638	135,375	△ 288,988	0	5,924,804
一般正味財産期末残高	5,728,467	△ 7,164	19,574	2,834	645,697	6,389,408	1,009	36,059	201,638	238,706	△ 336,432	0	6,291,682
II 指定正味財産増減の部													
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000	0	0	0	0	30,000	0	0	0	0	0	0	30,000
指定正味財産期末残高	30,000	0	0	0	0	30,000	0	0	0	0	0	0	30,000
III 正味財産期末残高	5,758,467	△ 7,164	19,574	2,834	645,697	6,419,408	1,009	36,059	201,638	238,706	△ 336,432	0	6,321,682

- 事業区分  
 公益目的事業
- 公1 静岡産業支援センター(ツイメンメッセ静岡)を用いた産業及び地域の振興・交流拠点事業
  - 公2 地場産業支援事業
  - 公3 都市型産業支援事業
  - 公4 静岡市中小企業支援センター事業
- 収益事業
- 収1 レストランテナント及び飲料水自動販売機事業
  - 他1 静岡産業支援センター(ツイメンメッセ静岡)の公益目的事業以外の貸与事業